

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月1日(月) 14:00~15:30
- 3 開催場所 関高等学校校長室
- 4 参加者

会長	大野 正博	朝日大学法学部教授	(書面参加)
副会長	村井 義史	本校同窓会副会長	
委員	福田 恵介	福田刃物工業株式会社取締役	(書面参加)
	衣斐 七海	関市産業経済部観光課	
	竹川 奈穂	一般社団法人本町編集室代表理事	
	林 亮太	本校PTA会長	
学校側	中原 泰男	校長	
	田内 俊文	教頭	
	吉川 敏幸	教頭	
	岸 正美	事務部長	
	廣瀬 志穂	教務主任	
	田代 寿文	進路指導主事	
	中西 章悟	生徒指導主事	
	松野 恭太	特別活動部長	
	西尾 侑一	研究推進部長	

### 5 会議の概要(協議事項)

スクールミッション・スクール・ポリシーに基づいた今年度の教育活動の重点及び学校経営計画について、学校側から説明を行った後、委員と意見交換・質疑応答を行った。

#### (1) 中学生や保護者に対する広報について

意見1: 少子化により生徒確保が一層困難な時代を迎えている。今後は周辺地域を含め、本校の特色や教育方針を積極的発信し、広報活動を一層強化していくことが求められる。

意見2: 出身中学の先輩によるリアルな体験談やメッセージなど、生徒の“生の声”を紹介することで親近感を高める。また、探究活動の成果や県内唯一の取組など、本校ならではの強みを他校と比較できる形で示すことで、印象に残る取り組みとなる。

意見3: 動画やインタビュー、ホームページでの発信など視覚的な媒体をさらに工夫し、本校の魅力がより広く、より分かりやすく伝わるようにするとよい。

(2) 令和8年度教育活動の重点及び学校経営計画について

意見1：生徒指導、進路指導、特別活動すべてにわたってバランスよく計画されている。特に特別活動については本校の独自性を感じる。人間性の育成においてもさまざまな視点を踏まえた充実した実践が行われている。

意見2：学習到達度が異なる生徒らへの指導について、どのように取り組んでいるか。

⇒本校では、高校入学後に大きく学力を伸ばす生徒も多く見られる。今年度は、生徒一人ひとりの学力層に応じた個別最適な指導と、学年・学級全体で行う全体指導のバランスをどのように図るかを、職員研修の重点テーマとして取り組んでいる。

意見3：他県でバス事故が発生したが、本校の部活動遠征時の移動手段についてはどのようなになっているか。

⇒現在、県教育委員会からの調査依頼を受け、県下全体で状況を整理しているところである。本校では白バスの利用はなく、保護者による送迎が中心となっている。安全確保を最優先に、今後も適切な対応を進めていく所存である。

意見4：DXハイスクール事業の取組状況はどのようなになっているか。

⇒DXハイスクール事業は今年度で3年目を迎えている。初年度には、ハイスペック機器の導入や専用ルームの整備を行った。以降は、探究活動や部活動でのオンライン会議の実施、生徒が機器を扱う機会の拡大などを通して、ICT活用スキルの向上を図る取組を実施している。

意見5：探究活動において先輩の取組を継承している例はあるか。

⇒本校では、米粉PRや刃物文化PRなど、先輩のテーマを後輩が引き継いで取り組む例がある。また、令和4年度には地域研究部がプロの漫画家の協力を得て地元の加治田城の歴史を題材とした漫画本を制作した。その取組を引き継ぐ形で、昨年度は英語部が英語版を作成し、今年度は市の観光課や観光協会の協力を得て、外国人向けの販売を行っている。

意見6：進路は大学進学だけが価値があるわけではなく、生徒が3年間悩み、考え、選び取った進路を尊重することが重要である。全体として方向性をそろえた指導を行うとともに、生徒一人ひとりに寄り添った進路指導をお願いしたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・第2回学校運営協議会では、「生徒及び保護者によるアンケート」の結果を基にして、本校教育活動に対する指導・助言を得る予定である。